



アフター（・ウィズ）コロナ時代に向けた
無料Webセミナーの開催

アフター（・ウィズ）コロナ時代を見据えた 新たなアグリビジネスを展望する

今般の新型コロナウイルス感染症大流行の危機において、目下、有効なワクチンがない中で、一旦新規感染者が減少したとしてもこれまでどおりの活動に戻ることはありません。

「ビフォアコロナ」のような社会には戻らず、更には大幅な景気後退があることを前提に対策を講じる必要があります。

また、世界規模のパンデミックにより、人々の生活や産業活動等のすべての面で崩壊、混乱が生じております。いまだ未曾有の危機が続く中、「アフターコロナに学ぶこと」、「ウィズコロナ時代のとるべき行動」について活発な議論がなされております。

我々の身の回りにおいても、「消費行動・意識はどのように変化するのか（経済停滞に入ることから極端に保守的になるのか）」、「移動制限によるオンライン体験をきっかけに非接触の配達サービス等の動きは加速化するのか」、「品質および安全性について非常に敏感になった消費者に対して必要な対策はなにか」、「既存のフードチェーンの混乱を踏まえ大きな構造変化が起きるのか」等の課題が浮き彫りになってきております。

本セミナーでは、新型コロナウイルス感染症大流行の影響下にあるアグリビジネスが直面する困難を踏まえ、新たに生じた課題を克服するための対策として参考となるケースならびに見解をご紹介します。

日時 令和2年7月15日（水） 13:30～17:00

内容 はじめに 一般社団法人日本食農連携機構 理事長 増田 陸奥夫

講演Ⅰ：「コロナ禍から何を学ぶべきか」

公益財団法人流通経済研究所 理事 名誉会長 上原 征彦 氏
株式会社コムテック22 代表取締役

講演Ⅱ：「アフターコロナ時代の農業と地域」

公益財団法人流通経済研究所 農業・地域振興研究開発室長/主任研究員 折笠 俊輔 氏

講演Ⅲ：「青果流通構造のこれまでの発展とアフターコロナの変化について」

株式会社でいたらぼ 代表取締役 宮川 博臣 氏

まとめ 一般社団法人日本食農連携機構 監事 鈴木 利徳

定員 50名（応募者多数の場合は、先着順とさせていただきます。ご了承ください。）

留意事項

※配信サービス「ZOOM」を利用して開催します。参加には「ZOOM」の約款に同意し、アプリをダウンロードしていただく必要があります。お申し込みいただいた方には先着順でアクセス用のURLをお送りいたします。
※お使いのWEB環境により、ご参加いただけない場合があります。また、参加にかかる通信費等は自己負担となりますのでご了承ください。

一般社団法人 日本食農連携機構

東京都千代田区内幸町1丁目1番1号帝国ホテルタワー

Tel : 03-3504-0221

Mail : s.mizutani@jfaco.jp